

❖ 2025年5月16日（金）

市内の高松幼稚園の皆様にお越しいただきました。

斐伊川放水路事業の概要や防災について、DVDや紙芝居で説明を行いました。

子どもたちからは、「放水路のことが少し分かった」、「楽しかった、また来たい」といった声をいただきました。

元気いっぱいに館内見学を楽しんでいただけました。





❖ 高松幼稚園の皆様からお礼をいただきました。この絵は放水路事業記念館に掲示しています。



2025年5月16日



❖ 2025年5月18日（日）

市内のボーイスcouts・カブスカウトの皆様にお越しいただきました。

斐伊川放水路事業の概要について、パワーポイントやDVDを使いながら説明を行いました。

皆様からは、「住んでいても知らなかったことを知ることができた」

「放水路事業で災害を防ぐことができていることが分かった」といった声をいただきました。





見学の様子

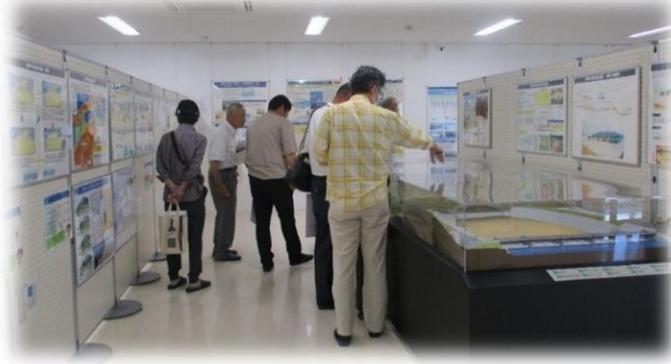


❖ 2025年6月5日（木）

市内の平田地区土木委員会の皆様にお越しいただきました。

斐伊川放水路事業の概要について、パワーポイントやDVDを使いながら説明を行いました。

皆様からは、「役立つ事業であることが理解できた」、「記念館をもっとPRしてほしい」といった声をいただきました。



❖ 2025年6月8日（日）

市内のてくてくクラブ（斐川町出西地区）の皆様にお越しいただきました。

DVDや館内展示資料をご覧いただき、斐伊川放水路事業の概要を学習されました。

記念館には複数回来館していると、お子さま方が話してくれました。





見学の様子



❖ 2025年6月22日（日）

松江市の白潟地区治水対策協議会の皆様にお越しいただきました。

斐伊川放水路事業の概要について、パワーポイントやDVDを使いながら説明を行いました。

館内見学では展示パネルを熱心にご覧になられ学習を深められました。

皆様からは、次のような感想や意見をいただきました。

- ・治水事業が進められた背景が良く分かった
- ・上流、中流域の皆さまには、多大なお世話をいただいたことに感謝している
- ・放水路事業での家屋移転437戸は驚いた
- ・放水路への分水が、これまで19回あったことを、松江市民はあまり知らないので、CATVやTV等で告知しては
- ・放水路事業に反対する地元組織として、「斐伊川・神戸川合流反対期成同盟連合会」があったことなど、松江市民も知っておくべきだ





❖ 2025年6月30日（月）

大阪府泉佐野市の「上之郷土地改良区」の皆様にお越しいただきました。

斐伊川放水路事業の概要について、パワーポイントやDVDを使いながら説明を行いました。

土地改良地区研修の一環として来館され

実際に泉佐野市で治水をする場合にはどうしたら良いのか、どのようなことが課題として想定されるか等
様々なケースを想像されながら、展示内容を熱心にご覧いただきました。

皆様からは、次のような感想や意見をいただきました。

- ・治水の大切さが理解できた。
- ・斐伊川放水路事業の際に、石棺がでてきたと知り、歴史ある出雲ならではと感じた。
- ・たたら製鉄が活発であったことから、斐伊川に砂を流していたため、天井川になったという経緯がよく分かった。





❖ 2025年6月30日（月）

国土交通省のOB会である「悠友会」の皆様にお越しいただきました。
過去に斐伊川放水路事業に関わっていた方も多くおられ、DVDや展示内容を見ながら
事業の成果についての再認識や、当時の出来事を懐かしんで振り返っていました。

DVDの鑑賞中には「そうだったそうだった」「こんなこともあった」というような声が出ていました。
また、記念館内の展示をご覧いただいている最中も
「当時はこんな出来事があった」「DVDに出てる人はこんな人だった」と
丁寧に教えてください、私たちの方が学ぶことの多い見学となりました。

先達の皆様が実施された事業をより広く周知できるよう、引き続き取り組んでまいります。



❖ 2025年7月25日（金）

神西コミュニティセンターで活動されている「未来思考部」さんの企画による
「斐伊川・神戸川にあるインフラ見学ツアー」で神西小学校の3～6年生（15名）の皆様にお越しいただきました。

記念館で斐伊川放水路やダムの役割を学習したあとに
斐伊川放水路と神戸川の上流にある志津見ダムも見学されるとのことでした。
普段見ている川には、洪水から生活を守る役割や、飲料・農業など生活に必要な役割がある
ということが学べたのでないでしょうか。

子ども達からは「洪水は怖いことが分かった」「ダムの役割が知れた」など感想をいただきました。





❖ 2025年8月31日（日）

市内の久多見地区災害対策委員会の皆様に、研修の一環としてお越しいただきました。
斐伊川放水路事業の概要について、パワーポイントやDVDを使いながら説明を行いました。

皆様からは、次のような感想や意見をいただきました。

- ・放水路事業がスムーズに行われてはいなかったことを知り驚いた。
- ・たくさんの人の努力や協力があってできたものと知り、ありがたく感じた。
- ・災害防止に絶大なる効果があるのが理解できた。





❖ 2025年9月14日（日）

松江市の湯町灘地区要配慮者支援会議（灘皆援隊）の皆様に、研修の一環としてお越しいただきました。

この日は昨夜からの大雨で、斐伊川放水路では自然越流が始まっていたため、来館前にご覧になられたと伺いました。

記念館では、斐伊川放水路事業の概要について、パワーポイントやDVDを使いながら説明を行い、館内見学では、昭和47年豪雨時における湯町灘地区の状況を聞かせていただきました。

この研修中に、斐伊川放水路へ通算20回目の分流が行われました。

皆様からは、次のような感想や意見をいただきました。

- ・川をさかのぼって考えることはなかったので、勉強になった。
- ・大変な事業だと分かった。自身も下流部に住む住民のため、事業の早期の完了を願う。
- ・昨今の大雨はこれまでの想定をこえるものが多く、想定を見直す必要があるのではと感じた。
- ・治水事業を行うにあたり、多くの人の協力と努力があったことが分かった。





❖ 2025年10月10日（金）

市内の荘原幼稚園の皆様にお越しいただきました。

斐伊川放水路事業の概要や防災について、DVDや紙芝居で説明を行いました。

子どもたちは、幼稚園で学んだ防災時の対応を思い出し、私たちにもその事について教えてくれました。

館内見学では、放水路事業や水害の怖さについてしっかりと学習されました。





❖ 2025年10月24日（金）

市内の上津小学校の皆様に、理科の授業の一環としてお越しいただきました。

斐伊川放水路事業の概要について、DVDや写真、パワーポイントを使いながら説明を行いました。

その後の館内見学においては、ひとつひとつの展示をご覧いただき、しっかりと学習をされていました。

子どもたちからは、次のような感想をいただきました。

- ・こう水を起こさないために、放水路が大切だということが分かった。
- ・放水路をつくるために、古ふんが出てきたのに命の方が大切だからと古ふんを壊したのは、それほど放水路が重要なだと感じた。
- ・放水路のために土地を提供してくれた人たちおかげで、今のぼくたちは安全な生活ができるんだなと思った。





❖ 2025年11月9日（日）

斐伊川・神戸川治水対策事業を学ぶ、大型バスで巡る「大橋川・志津見ダム・斐伊川放水路見学ツアー」を開催しました。時々雨が降っており天気はあまりよくありませんでしたが、多くの皆様にご参加いただきました。

午前は、松江市の大橋川の改修工事の状況を船に乗って見学しました。

また、午後は、斐伊川放水路や、志津見ダムの内部を見学しました。

この日、斐伊川放水路では、バイクミーティングが開催されており、ふるまいのシジミ汁もいただきました。

参加者の皆様からは、次のような感想をいただきました。

- ・普段見ている大橋川も、川の中から見ると、また違って見えた。水と町が近く、治水の重要性を改めて知った。
- ・なかなか入ることのできない斐伊川放水路や志津見ダムの内部を見学することができて、とても貴重な体験だった。
- ・今後もイベントを続けてほしい、もっと多くの人にも参加してほしい。知人にも宣伝していきたいと思う。





見学の様子



❖ 2025年11月17日（月）

市内の旬の会（男の料理教室）の皆様にお越しいただきました。

お昼に色々と料理を作った後の見学のようでした。

斐伊川放水路事業の概要について、パワーポイントを使いながら説明を行いました。

皆様からは、線状降水帯発生時の行動、農業用ため池の老朽化など、水害への悩みについてご意見をいただきました。
私たちにとっても、地域で抱える課題を認識する貴重な機会となりました。

